

トヨコ通信

2005年 3月号

ホームページ <http://www.sasada-toyoko.jp/>
e-mail sanbal@sasada-toyoko.jp

発行 : 日本共産党笹田トヨコ後援会
発行日 : 2005年 2月28日 第30号
連絡先 : 大垣市鳩部屋町41
日本共産党大垣市後援会
Tel 74-3449 Fax 73-8572

部内資料

考えてみませんか ～合併について～

1市2町の飛び地合併、スピード審議で強行

17日臨時議会1市2町の合併協議会設立を議決

18日～20日合併説明会4箇所実施

21日1市2町合併協議会開催

25日1市2町合併調印式

合併協の立ち上げから1週間で調印を行うと言う
前代未聞の飛び地合併が進められようとしています。

「飛び地合併の必然性は？」・・・

合併説明会、市民の疑問に答えず

合併説明会には多い会場で100人程度、少ない会場は50人前後の市民が出席し、「飛び地合併までやる必要性は何か?」、「1市9町の合併はなぜ破綻したのか、その総括が聞きたい」「大垣市も意向調査をやるべきではないか」といった意見が出されました。ところが、飛び地については「車社会だから問題ない」「合併は時代の趨勢」、意向調査については「編入合併で大垣市民は変化なく必要ない」と言う市長の答弁でした。

しかし、市民の中には「もっとすっきりした答えが欲しい」と言った声があり、納得のいく説明会と

はいえないものでした。

尚、合併に伴う問題点(ごみ処理施設や下水道問題など)については何ら説明がなく、市民の疑問にも充分答えず、市長選挙を待たずして3月議会で強行する今回の合併のやり方について、市民無視の市政と言われても仕方ありません。

市民や町民からの意見続々

合併説明会の後、共産党西濃地区委員会に沢山の意見が寄せられました。

その多くは、「合併に反対」、「市民の声をもっと聞くべき、他の町村のように説明会ならびに住民投票で賛否を問うべき」といった意見が寄せられました。

また、「下水道処理施設の問題が解決つくまで合併は待ってほしい」という有志の墨俣町民からの手紙や、上石津町のごみ処理施設について現地に入って調査をした結果について知らせてくださった大垣市民の方など、この1市2町の合併については様々な問題点や不安が寄せられました。

こういった問題を放置したままの合併は将来に渡って禍根を残すことになるのではと心配します。

臨時議会にて「1市2町の飛び地合併」反対討論を行いました。以下はその要旨です。

反対の理由

第一は、上石津町と墨俣町は何れも飛び地であり、誰の目か見ても市民を納得させるだけの合併の必然性がありません。また、大型合併の時に強調されたスケールメリットも飛び地合併ではあり得ないし、上石津町の下水道事業による多額の負債や南濃衛生施設利用組合からの脱退に伴う負担金問題などむしろ財政的には負担を抱えるのではないかと心配です。

第二は、現在小泉内閣が進めようとしている「三位一体の改革」が今後どのように進められていくか今の段階で不透明な状態で、1市2町の財政計画をそのまま進めるのは大変危険です。平成16年度の予算編成では国の財政赤字のしわ寄せを受け、大垣市も大変厳しい財政運営を強いられました。小さな自治体ではやっていけないという不安の声があるが、自律の道を探ることなく、そして住民参加で解決しようとする試みをしないままで合併に走るのはいかなるものか。

第三の反対理由は、この合併の進め方の問題で、「1市2町の飛び地合併」は合併の理念や必然性もなく財政的にも不安を抱えたまま、その問題性を十分議論することなく3月議会で議決する予定です。今年は4月に市長選挙が行われるわけで、市民の意思を問う絶好の機会になるはずですが、それを待たずに決めてしまうことは、住民無視の市政と言われてもしかたがありません。

3月議会のお知らせ

平成17年第1回定例会議が3月1日から始まります。今回は、平成17年度一般会計、特別会計、企業会計などの当初予算案、また条例制定など50議案が提案されています。

尚、1市2町の合併関連の議案も追加提案される予定です。日程は下記のとおりです。本会議、委員会は誰でも傍聴できますので、是非傍聴にお越しください。（※委員会は開催時間15分前までに、議会事務局へ申し込みが必要です。）

3月1日(火)	10:00	本会議(提案説明)
7日(月)	10:00	本会議(一般質問)
8日(火)		(一般質問 予備日)
9日(水)	9:00	大垣駅周辺整備に関する委員会
	13:00	市民病院に関する委員会
10日(木)	9:00	中心都市再生に関する委員会
14日(月)	9:00	建設委員会
15日(火)	9:00	経済委員会
16日(水)	9:00	厚生委員会
17日(木)	9:00	総務委員会
18日(金)	10:00	本会議

平成17年度予算案より

平成17年度の一般会計の予算規模は453億円で前年度より1.9%減になっています。その特徴は、「三位一体の改革」の影響で2億4千万円の減、市税は4年ぶりの増加で1億3千万円の増、他に競争事業からの繰入金は1億円と減収になっています。歳出は少子高齢化等の進展に伴い民生費関係は増加していますが、その他の項目はすべて減額です。

★★★みんなの願い一歩前進!

◎乳幼児医療費助成拡大 拡充分 1億9520万円

入院・外来とも小学校2年生まで無料

◎乳幼児の予防接種が改善されます。

BCGの接種が4ヶ月児健診で実施されるようになり、また麻しん(はしか)の接種が1月と7月の2回だけであったのが、いつでも接種ができる医療機関委託となりました。

◎少人数学級の充実 水都っ子プラン2310万円

岐阜県が17年度より、小学校1年生に限り35人学級を

実施。これに伴い、水都っ子プランの対象を1年生の在籍「35人以上」から「30人以上」の学級に拡大して、非常勤講師を配置。中学校は1年生の在籍「35人以上」の学級に非常勤講師配置。

★★その他に・・・

・小学校耐震補強事業 1230万円(宇留生小、荒崎小)、
・小・中学校校舎整備計画策定基礎調査事業 1470万円
(※小・中学校校舎の改築や耐震補強の方向性及び優先順位の判断をするため、建物のコンクリート壁のコアを抜き、圧縮強度と中性化試験を実施。小学校32棟、中学校17棟)

・小学校宮繕事業 1億5587万円(興文小、西小、中川小など)

・中学校宮繕事業 7727万円(興文中、東中、西中、南中)

・北小学校プール改築事業 1億6490万円

■コンピュータ借上げ費用は人件費より高い

・教育用コンピュータ活用推進事業1億935万5千円(機器借上げ42台/校)

・校内LAN活用推進事業 3726万4千円

■問題と思われる予算化としては・・・

学校給食センター建て替えにPFI導入調査事業費・390万円

※PFIとは、プライベート(民間、私的=Private)、ファイナンス(資金=Finance)、イニシャチブ(主導=Initiative)の略称で、「民間資金(資本)主導」の事業方式です。今回の予算化は南部学校給食センターの建設および運営をPFI方式導入について検討を行うものです。学校給食をPFIなど民間委託するのは、教育としての給食が保障できないと、全国各地で問題になっています。

条例案について

「大垣市一般職の任期付職員の採用等に関する条例(案)」など人事行政運営に関わる条例案4件が、提案されています。

特に、この「大垣市一般職の任期付職員の採用等に関する条例(案)」は、正規職員を「任期付採用」で置き換えるもので、公務労働の公共性や中立性・継続性をそこなうものではないかという指摘があります。現在も大垣市職員の中には臨時・非常勤職員が多く採用されていますが、今、なぜ新たに「任期付職員の採用」に関する条例を制定する必要があるのでしょうか。

大垣から平和の願い発信

9mapキャンペーンin名古屋

～スマイル発売記念前夜祭～

3月20日はアメリカが一方向的にイラク戦争を始めた日です。今年も、この日に日本中で、また世界中で、イラク戦争反対の意思表示が行われることでしょう。

9mapは、この日を「スマイル」の発売日として準備を進めています。そして、19日、スマイル発売記念前夜祭が名古屋で行われます。

3月19日(土)午後6時(開場午後5時30分)、

場所:東海テレビ内テレビアホール

第1部 ビーストーク

特別ゲスト 高遠菜穂子さん、西村陽子さん

第2部 9map キャンペーン 「スマイル」大合唱

※9mapとしてステージに立ちたい人は、事前申込を!

※スマイルCD

1枚1000円



練習不足の私もアルトで歌いました。



9map「スマイル」のレコーディングに300人集う。

今年の憲法週間も盛りたくさん

5月3日は憲法記念日、毎年西濃憲法集会が開かれますが、今年も年明け早々、実行委員会が立ち上がりました。昨年、「憲法週間」と位置づけ、岐阜県下の各地の取り組みと連携を強めています。今年も盛りたくさんの企画が検討中ですが、今決まっている企画でお勧めは、4月30日、教育オンブズマン主催の中西新太郎教授(横浜市立大学)の講演です。今の子ども達を理解したいと思っておられる方は是非中西教授の講演を聞いて下さい。

著書「若者たちに何が起きているのか」参照。